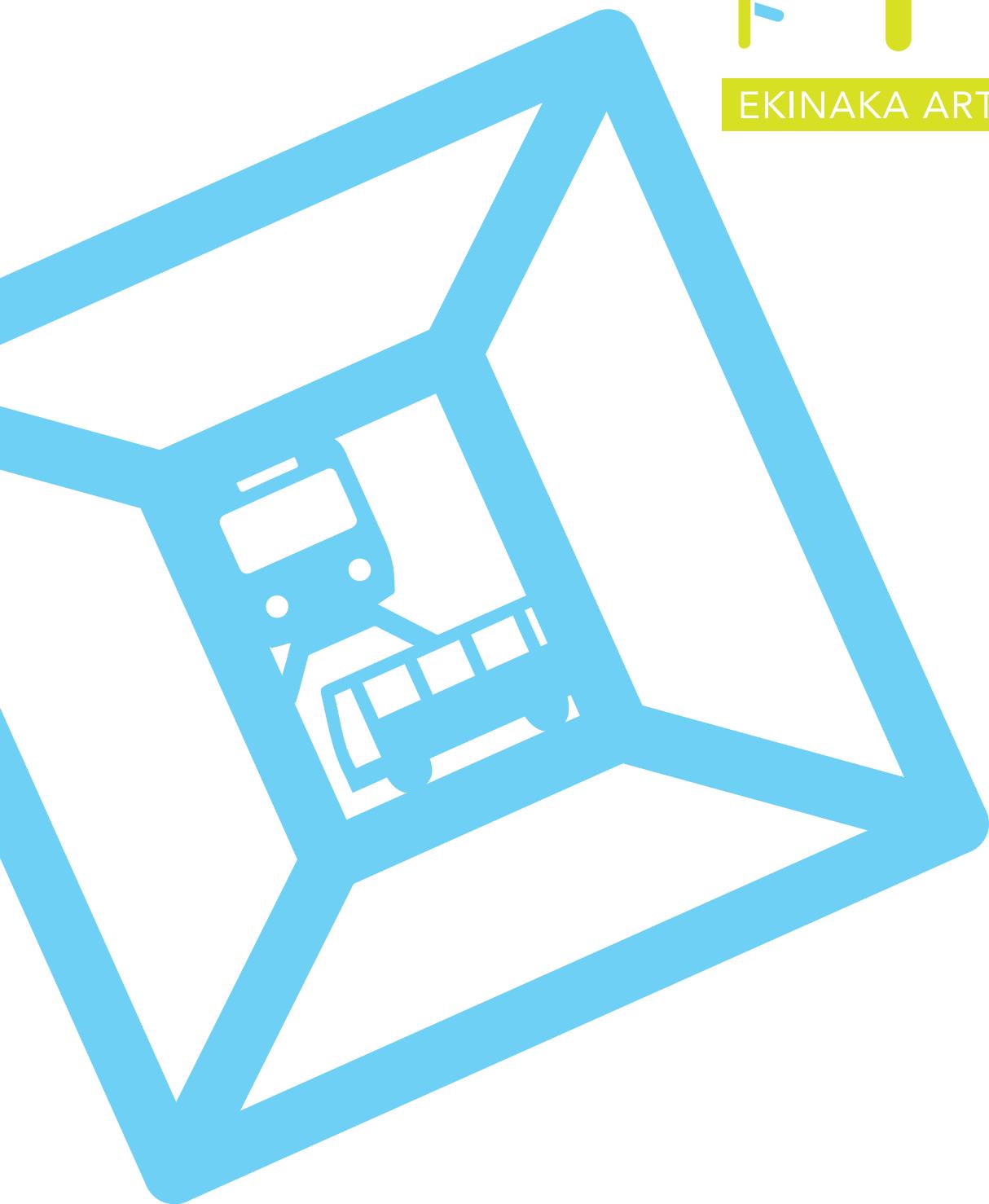


ア 駅
ナ ナ
ト カ
プロジェクト

EKINAKA ART PROJECT



2018
Kyoto City Subway

事業概要

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で地下鉄駅構内を活性化する。

実施目的

- 人口140万人の大都市であり、年間5千万人の観光客が訪れる国際観光都市でもある京都。その重要な都市装置である「京都市営地下鉄」の「駅」のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化することで、活力ある京都のまちづくりに寄与すること。
- 「大学のまち京都」ならではの取組として、芸術系大学の学生が中心となったアート作品の展開により、世界に誇る「文化芸術都市京都」確立への一助となること。
- 本事業を通じた「学・産・官」三者の連携・交流により、学生に対し、未来の京都を支える人材への成長の機会を提供すること。

実施駅及び参加大学

【大学名】	烏丸線	国際会館駅
京都精華大学	烏丸線	松ヶ崎駅
京都工芸繊維大学	烏丸線	北大路駅
京都府立大学	烏丸線	鞍馬口駅
大谷大学	烏丸線	五条駅
京都女子大学	烏丸線	東西線
京都教育大学	東西線	六地蔵駅
京都橘大学	東西線	柳ヶ瀬駅
京都造形芸術大学	東西線	東山駅
京都美術工芸大学	東西線	三条京阪駅
京都市立芸術大学	東西線	二条城前駅
嵯峨美術大学	東西線	二条駅
嵯峨美術短期大学	東西線	太秦天神川駅

作品のテーマ

「明治150年,next innovation」

今年は、明治元年から150年となる節目の年です。明治維新により都が東京へ遷り、人口が急激に減少するなど危機的な状況にあった京都。当時の京都市民は、これまでの伝統的な文化を継承しながらも、番組小学校、時代祭、琵琶湖疏水、市電等、新しい息吹を京都に吹き込み、街の活気を取り戻していました。こうした「不易」と「流行」の美意識あふれる京都で学ぶ学生達の豊かな感性で、地下鉄駅構内に未来を創造する作品を展開します。



実行委員会メンバー(平成29年11月17日設立当初)

【大学名・局名 五十音順: 敬称略】

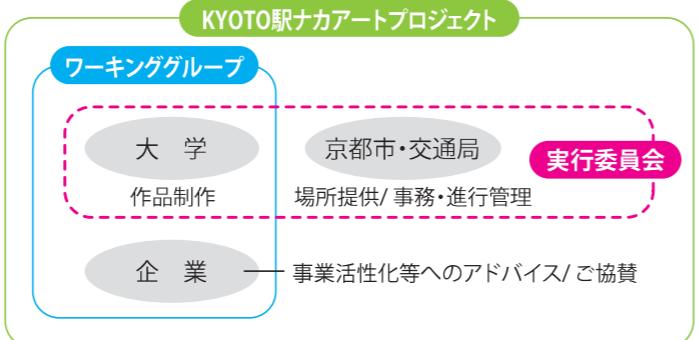
大谷大学 教授
京都教育大学 教授
京都工芸繊維大学 名誉教授
京都工芸繊維大学 准教授
京都女子大学 准教授
京都市立芸術大学 教授
京都精華大学 教授
京都造形芸術大学 教授
京都橘大学 准教授
京都美術工芸大学 教授
京都府立大学 准教授
嵯峨美術大学 教授
嵯峨美術短期大学 准教授
京都市交通局 高速鉄道部長
京都市文化市民局 文化芸術都市推進室
文化芸術企画課 事業推進担当課長

松川 節
丹下 裕史
山本建太郎
西村 雅信
江口 淑子
藤本 英子
中川 裕孝
都築 潤
河野 良平
中井川正道
河西 立雄
江村 耕市
堤 抄子
土田 稔
船木 康司

【大学名・企業名 五十音順: 敬称略】

大谷大学 教授
京都教育大学 教授
京都工芸繊維大学 名誉教授
京都工芸繊維大学 准教授
京都女子大学 准教授
京都市立芸術大学 教授
京都精華大学 教授
京都造形芸術大学 教授
京都橘大学 准教授
京都美術工芸大学 教授
京都府立大学 准教授
嵯峨美術大学 教授
嵯峨美術短期大学 准教授
株式会社イシダ
京都中央信用金庫
株式会社サンエムカラー
株式会社島津製作所
株式会社美十
田機械株式会社
京都地下鉄整備株式会社
株式会社最上インクス
株式会社ジイケイ京都
株式会社バックス画材
株式会社堀場製作所
株式会社リーフ・パブリケーションズ

事業体制のイメージ



KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018 作品構想意見交換会

日 時: 平成30年2月6日(火)13時~16時30分

場 所: 株式会社島津製作所本社会議室

参加者: 参加12大学・協賛企業

「KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018」の参加大学12校がこの日、一堂に会しました。ここでは、この事業にご協力いただいている企業の皆様の前で各大学の学生たちが、各自の作品について想い想いの構想を語り、お互いに意見や率直な感想を述べ合うことで交流を行いました。



KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018 感謝状贈呈式 & ジョイントミーティング & 市バスアート車両お披露目

日 時: 平成30年3月28日(水)12時30分~14時30分

場 所: 地下鉄烏丸線京都駅「コトチカ広場」・京都駅前広場

参加者: 参加12大学・協賛企業

京都の「大学」と「企業」と「行政」が一体となって取り組む様子をより多くの方々にご覧いただけるよう、広場でのオーブン形式で「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催しました。感謝状贈呈式では、門川京都市長から作品制作に当たった各大学の学生達にそれぞれ感謝状が手渡しされ、ジョイントミーティングでは、学生達が作品説明のプレゼンテーションを行い、各企業からご意見等をいただくことができました。また、大谷大学が参加12大学を巡って制作したメイキング映像の放映や、ポスター・紙管等の広報物デザイン制作を担当した京都精華大学の学生によるプレゼンテーションなども行い、大学生の制作力をアピールしました。京都駅前広場では、初参加の京都美術工芸大学が「明治150年」を記念し、明治時代のファッショント交通をモチーフとしたデザインを市バス車両に施し、そのお披露目を行いました。



左 | 市バスアートお披露目
中 | ジョイントミーティング
右 | 感謝状贈呈式

制作風景

今年の作品テーマ「明治 150 年, next innovation」について、学生たちが各々の感性に基づき相談、検討を重ね、一つひとつの作品を創り上げていきました。

国際会館駅：京都精華大学



イラストをスキャンし配色などを決めます。



データが完成したのからどんどんシール用紙に印刷していきます！



バランスを見ながら配置を決めていきます。試行錯誤です…。



配置が決まればこの作品のメインとなる鏡の部分を切り抜く作業です！

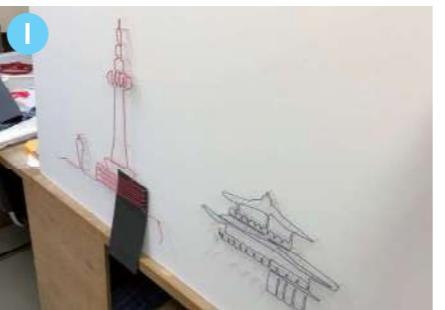


布を貼っていきます。



鏡を埋め込んでいきます。

北大路駅：京都府立大学



試作品をつくりました。紐の太さや背景の色などを調節しました。



作品を作り始めました。まず、ダンボールをカットします。



次に、ダンボールに黒画用紙を貼り、土台を作ります。



土台にピンを刺し、パネルを作ります。



パネルを並べて貼り、紐を通します。



全長 30 メートルの作品が完成しました。

松ヶ崎駅：京都工芸繊維大学



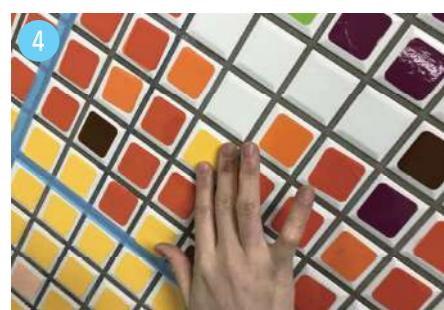
壁面の図案をデザインします。



カッティングシートをプロッターでカットしていきます。



シールの準備ができました。



図案通りの場所にシールを貼っていきます。



作業風景です。



完成です！

鞍馬口駅：大谷大学



何回も打ち合わせを重ね、内容構成を考えます。



動画を編集し、エフェクト(効果)をつけて、かっこいい内容に仕上げていきます。



制作開始！発泡スチロールを切りテープを貼り付けていきます。



動画の完成のイメージを膨らませる為、様々な動画を参考にして案を出し合います。



各大学を訪問させて頂きメイキングの撮影を行いました。

五条駅：京都女子大学



もうすぐ貼れます。



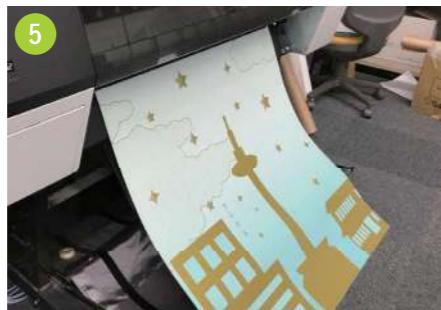
高いところでも大丈夫。



2段目まで貼れました。



五条駅のどこかにいます。



きらきら。



天井で揺れてます。

柳辻駅：京都橘大学



テーマに合った文字を製作・印刷しています。



印刷した文字の重なりや透け具合を確認中。



透明なボードに貼ってレイアウトを検討。



レイアウトに沿って微調整しながら接着。



作品を駅に搬入し、設置準備をしています。



実際に作品を壁面に取り付け中。

六地蔵駅：京都教育大学



液晶タブレットとソフトでデジタル作画を行います。



柱のサイズに印刷された作品を丁寧に貼り付けます。



型にFRPを貼り込みます。ガスマスクを付けないと身体に悪いです。



粘土で造形した原型をシリコンで型を取ります。柔らかい素材なので抜け勾配を無視できます。



帆布に切り込みを入れ緯糸に、アクリルテープを経糸に、平織りをしていきます。そして、カシメで固定します。



織りあがった布に防炎剤を吹き付けて完成です。

東山駅：京都造形芸術大学



ネオンの型を実際に展示する大きさで作り、印刷して壁に貼ってみました。



水路閣を作るためのレンガの枚数を計算し、作成したデータを印刷して貼り合わせ、土台を作ります。その上に透明のビニールを敷いて手描きのレンガを一枚ずつ貼り合わせました。



板に型紙を貼り、穴を開けてELワイヤーを通しておきます。そこに針金や釘でELワイヤーを固定していきます。



レンガを貼り終えた水路閣のシートの真ん中部分にアクリル絵の具で着色し、レンガに苔の装飾をしてよりリアルに見せます。



完成した水路閣のシートを断片的にカットしていきます。形のデザインも考えました。



看板に空いた穴をパテで埋め、ヤスリで削り、再度ジェッソを上から塗ります。ムラなく塗ってELワイヤーについてのジェッソを拭き取ります。

三条京阪駅：京都美術工芸大学



鉄道博物館調査：デザインのネタ探しに博物館や図書館に行きました。

デザイン案検討風景：メンバーそれぞれが自由な発想をもとに意見交換し、案を集約していきました。



出力原稿カッティング作業：今まで経験したことのない大きなカッティング作業で苦労しました。

展示壁面清掃：見た目以上に汚れていて、清掃が大変でした。

シート貼り作業：プロに指導を受けて初めての貼り付け作業を行いました。タイルの凸凹に追従する最新フィルムは非常にデリケートでしたが、タイルとの一体感が出て描いたような味わいが出ました。

二条駅：嵯峨美術大学



実現化に向けて図面とスケッチを検討。

電飾ボード背面の配線、電球の数は116個。

3分割されたボードの接続。



電飾ボード完成、ポールとの接続とタイマーを確認。

ロッカー上に設置、電球をはめて通電チェック。

ロッカー横のインフォメーションと掲示物の設置。

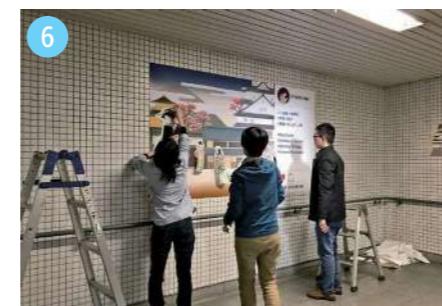
二条城前駅：京都市立芸術大学



二条城駅とその周辺環境を観察し、コンセプトなどを決めていきます。

コンセプトに沿って各々イラストを作成しています。

作成したイラストを一つのポスターに配置し、全体のバランスを見ながら検討していきます。



通行する方の目に留まりやすい位置を意識しながら仮貼りをしていきます。

配置する場所が決まったら、タイルの目地に沿ってシールを貼っていきます。

最後は背景に人物や乗物のイラストを重ねていき完成です。

太秦天神川駅：嵯峨美術短期大学



明治、大正、昭和、平成、各時代の男女キャラクターを1人ずつ担当し、デジタルで作画しました。

それが自宅で制作することがほとんどだったので、SNSでグループを作って綿密に連絡しながら進めました。

ポスターが刷り上がっていよいよ展示です。大きなポスターを協力して枠にはめ込みます。



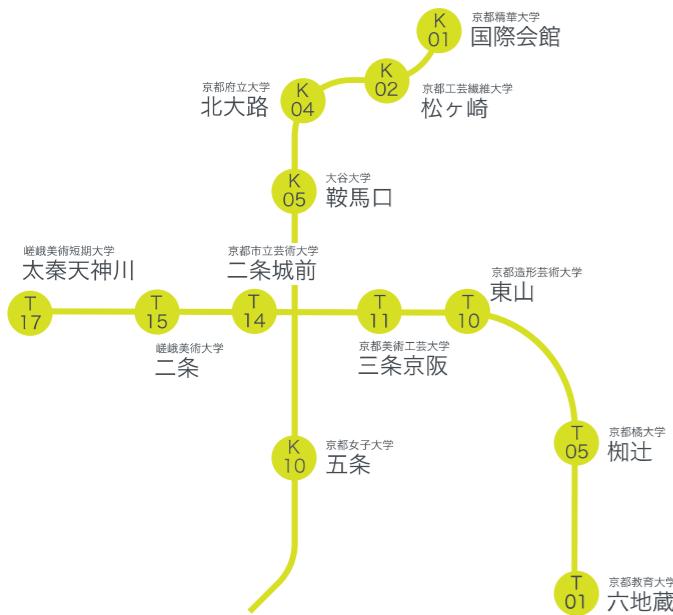
ステッカーを貼る前に壁を掃除しました。

ステッカーの位置決めです。ホームへ降りる人が多く使う階段なので、地下に行くほど新しい時代を配置します。

ステッカーを慎重に貼っていきます。かすみ文様の複雑な形の部分がなかなか難しいです。

作品一覧

[実施駅及び実施大学]



[第2回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会に参加!]

明治150周年をテーマに展開する「KYOTO 駅ナカアートプロジェクト2018」をPRするため、平成30年2月24日(土)に開催された京都駅ビル大階段駆け上がり大会に参加。大谷大学の藤木雅斗さん、京都美術工芸大学の井上由歩さんと遠藤景子さん、嵯峨美術大学の白鳥岬さんが明治時代をイメージした衣装を着用して出走し、駅ナカアートプロジェクトのPRに貢献してくれました!



[広報物制作]

京都精華大学の藤田聖香さんが、担当の米本昌史先生のご指導のもと、ポスター、デジタルサイネージや紙管等の広報物デザインを一手に引き受けってくれました。より多くの方に駅ナカアートプロジェクトを知っていただける広報物を作るため、ポスターデザインはこれまで

のキーデザインを継承しながら、使用する文字自体をデザインするなど、より魅力的なデザインを制作してくれました!また、開催駅を分かりやすくするため、藤田さん、米本先生が試行錯誤しながら紙管を制作し、開催駅の改札付近に設置するという初の試みも実施しました。

BIポスター



《ポスターデザイン》

B3ポスター



《紙管》

[メイキング映像]

駅ナカアートプロジェクトの制作風景を2年目となる今年も大谷大学が映像にまとめました。今年は、12大学が1つになって駅ナカアートプロジェクトをもっと広めていこうと、スケッチブッククリレーを試みました。ビリビリとしたイラストを加えることで、ポップな感じに仕上げ、サウンドともリンクするように編集をしました。

撮影:大谷大学松川ゼミ

(八木紫帆 前田紗菜 池田学 小柏朝陽 川辺浩司 中山結佳 西井真美 森下和成 山元聖哉)
編集:川辺浩司 サウンド:倉光延行 トータルディレクション:大谷大学/倉光延行

▼大谷大学のyoutubeの
ページにつながります。



作品名 時代を繋ぐおもちゃ絵

制作 作者 | 奥田宥聰・梅田郁美・大坪千夏・近藤奈緒・臼井七海・大石百香・大津鞠花・少徳菜穂子・河原瑞穂・高橋愛美・浅井千春
井坂郁・石田倫里子・岩井まだか・大西咲里奈・金重久子・小林愛美・伊達咲紀子・三川友理子・室谷優花
指導教員 | 米本昌史・中川裕孝



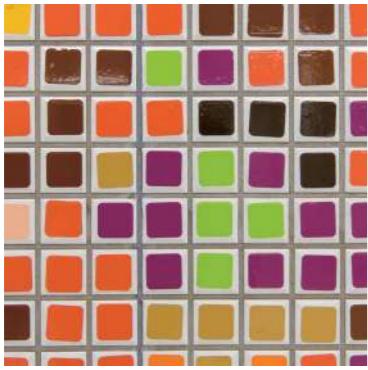
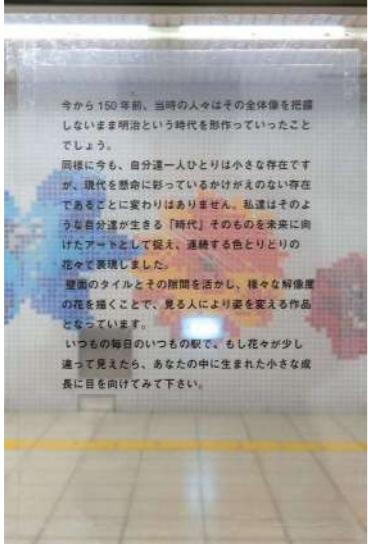
明治時代、庶民の子供達の間で親しまれてきたおもちゃ絵。そのおもちゃ絵を通じて現代と明治時代を繋ぐことはできないかと考えました。おもちゃ絵の特徴の一つでもあるマスを利用してレーンを作り、その中に食事風景、楽しそうに踊っている姿、遊んでいる姿などを描きました。この作品に登場している人の顔は一部鏡になっています。現代を生きる私たちがその鏡に映り込むことで明治にタイムスリップしたような感覚を楽しんでいただけたら嬉しいです。また、おもちゃ絵の中にアイテムを探してもらうお題が3つあります。ぜひ探してみてください。

松ヶ崎駅

京都工芸繊維大学

作品名 Bit bit bit

制作者 | 井上咲弥・内山拓海・岡田千春
指導教員 | 西村雅信

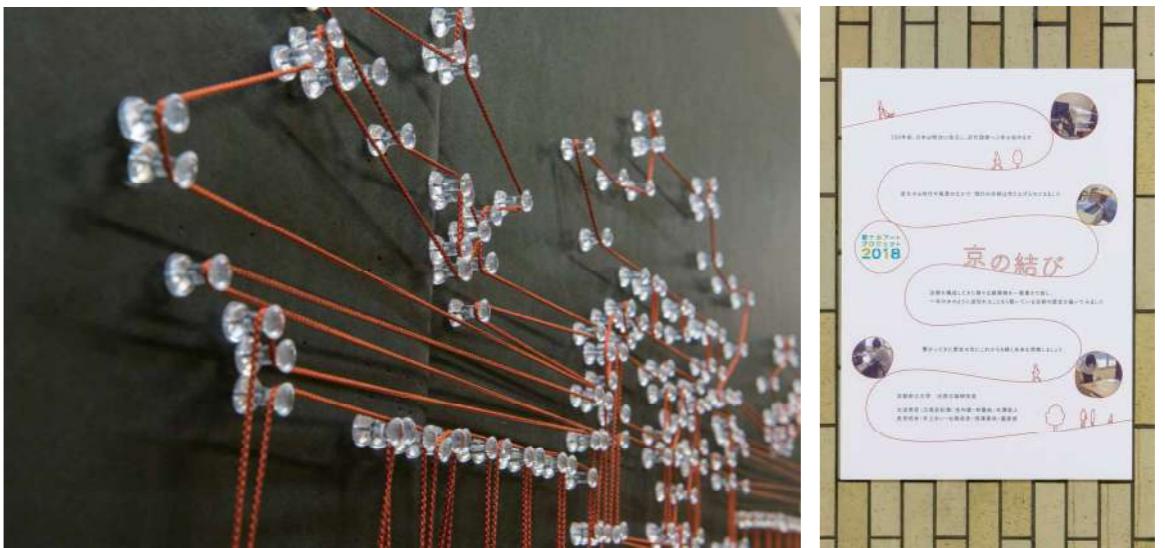
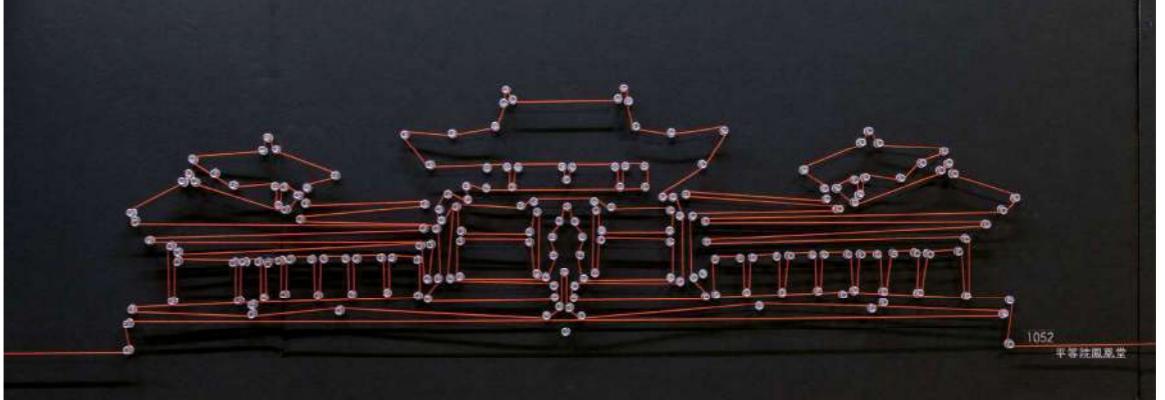
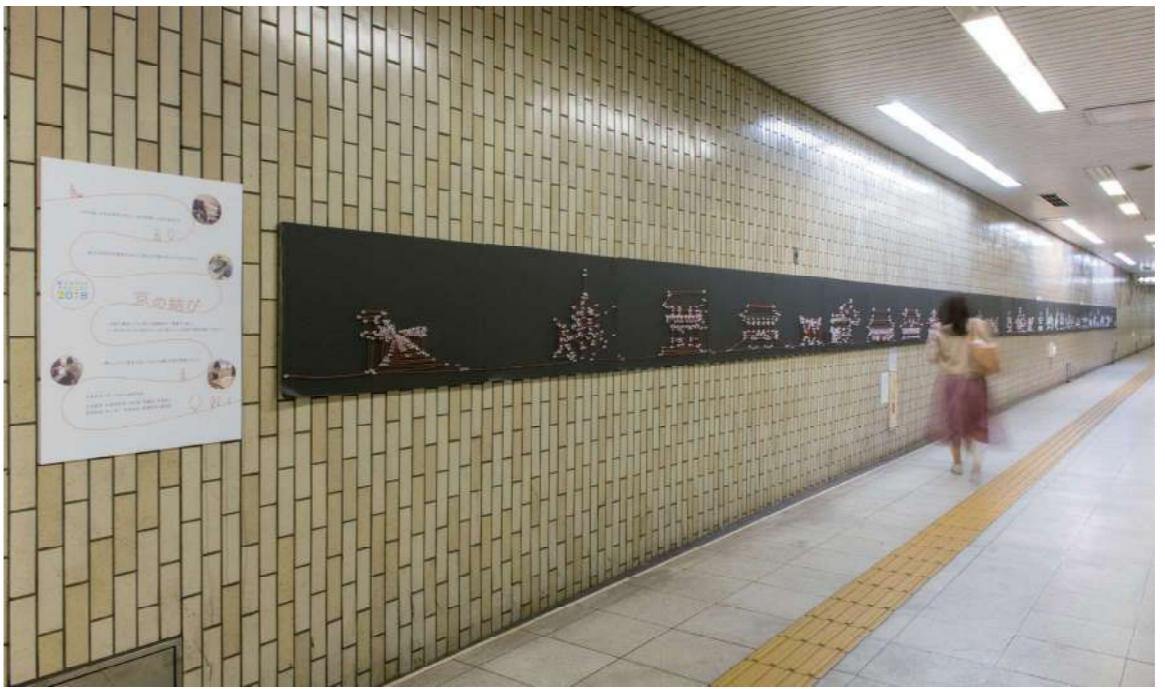


今から 150 年前、当時の人々はその全体像を把握しないまま明治という時代を形作っていったことでしょう。同様に今も、自分達一人ひとりは小さな存在ですが、現代を懸命に彩っているかけがえのない存在であることに変わりはありません。私はそのような自分達が生きる「時代」そのものを未来に向けたアートとして捉え、連続する色とりどりの花々で表現しました。壁面のタイルとその隙間を活かし、様々な解像度の花を描くことで、見る人により姿を変える作品となっています。

いつもの毎日のいつもの駅で、もし花々が少し違って見えたなら、あなたの中に生まれた小さな成長に目を向けてみて下さい。

作品名 京の結び

制作者 | 井上咲・北岡佳奈・西澤美咲・藤原悠
指導教員 | 河西立雄



明治元年から 150 年の節目（平成 30 年）を迎える今、私たちの先人が今私たちに残してくれた京都を辿る手段として私たちは「一筆書きで繋がる京都の歴史」を伝えたいと思います。京都を構成してきた様々な建築物を一筆書きで表し、1 本の糸のように途切れることなく続いている京都の歴史を表現しています。展示期間の前半と後半で紐を張る建築物を変える予定ですので、後半の展示も楽しみにしておいてください。

作品名 灯々

制作者 | 八木紫帆・前田紗菜・池田学・小柏朝陽・川辺浩司・中山結佳・西井真美・森下和成・山元聖哉
指導教員 | 松川節・倉光延行



鞍馬口駅の通路を照らす明かりと、next innovation から次世代への光という二つの意味を込めて、「灯々」(とうとう)としました。

明治の象徴である赤レンガを表現するため、大谷大学の尋源館の壁を撮影し、編集してポスターにしました。現在残っているものを未来に繋いでいきたいという願いが込められています。レンガは日々更新され、経過を楽しめるものとなっております。プロジェクトを使用した動画では、明治に行われていた自由民権運動の形式を取り入れ、鞍馬口の住民の方々はじめ京都の方にインタビューをし、それを歌として流しています。京都をもっと良くしていくという思いを込めています。

また、駅ナカの広報 CM、メイキング映像等も見ることができ、飽きない内容を目指しています。

作品名 オノマトペミュージアム

制作者 | 中央壁：手丸舞美（きらきら）
柱：板谷茉依（ドキドキ）・後藤静香（なみなみ）・西井遙（トゲトゲ）・藤木寧音（ふわふわ）・山口璃々子（カクカク）
天井：梶田彩生（そよそよ）・成田朋香（ひゅーひゅー）・前田晴香（ゆらゆら）
階段：児玉遙・宮本桜子
スクリーン、映像：鳥居紗和・福原千慧
指導教員 | 江口淑子



普段何気なく発しているオノマトペを地下鉄五条駅にあふれさせ、五条駅を利用する方々に楽しんでもらえるように制作しました。ドキドキ、カクカク、ふわふわ、トゲトゲ、なみなみ、きらきら、ひゅうひゅう、ゆらゆら、そよそよ、うろうろ、てくてく、キュッキュッ、よちよち、カラソコロン、よろよろ、スタスタ、コツコツ、カンカン、だらだら、ドタドタ、ちよこちよこ、とぼとぼ、ぺたぺた。駅中のオノマトペをさがしてみてください。

六地蔵駅

京都教育大学

作品名 まとう

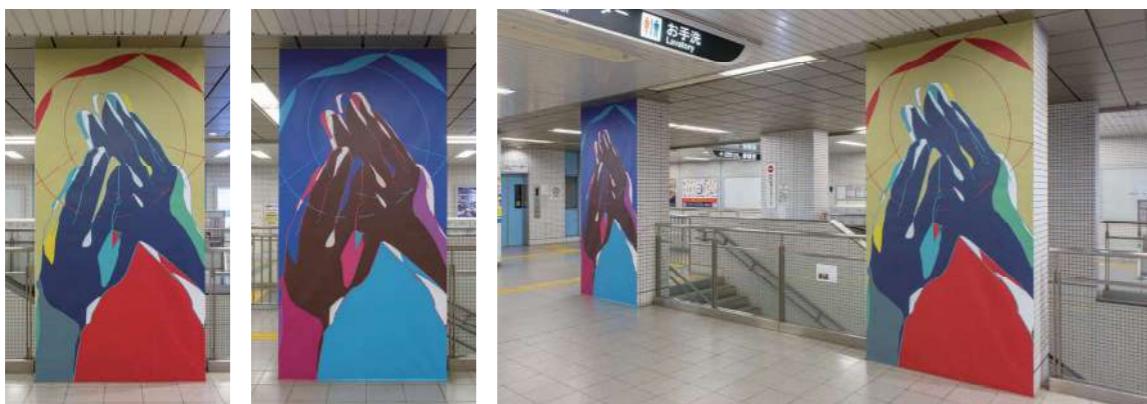
制作者 | 村下賀奈子 指導教員 | 丹下裕史



地下鉄構内の正方形のタイルで覆われた無機質な空間を変えたいと思い制作を始めました。そこで「空間に変化をもたらす布」をコンセプトにタイルに合った服を作ろうと思い立ちました。作品上部は帆布を縞糸に、アクリルテープを絹糸にし、平織りをすることによってタイルと同じ形に織り上げています。下部については絹糸のみで、上部との変化をつけています。

作品名 繋がり

制作者 | 中光希 指導教員 | 丹下裕史



明治 150 年という節目にあたり人々の繋がりに注目し制作しました。作品で空間を変えることを目的に作品展示を構想していたので、駅改札すぐの大きな柱 2 本全面にポスター出力したものを 2 本とも展示しています。デジタル技法により、作者の思い描く色彩やクオリティーがダイレクトに伝わる作品となっております。

作品名 メアリー

制作者 | 太田風人 指導教員 | 丹下裕史

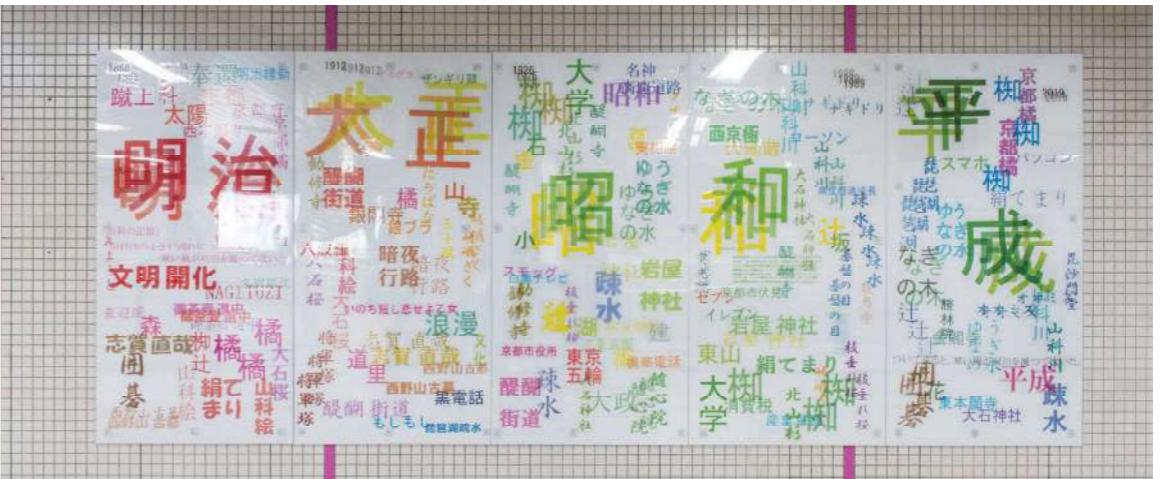


公共空間を利用する人々にマナーを意識させるという観点で制作しました。壁に設置された無数の顔はこちらを見据えており、監視されている感覚がマナーを意識させることに繋がると考え、構想しました。

明治 150 年、それは人にとってどのようなものだったでしょう。人々の生活はこの 150 年の間で大きく変化してきました。何をするにも便利で豊かになった反面、人と人との繋がりはどうでしょうか、人の心は豊かになったでしょうか。今回京都教育大学では『明治 150 年とひと』をテーマに 3 名それぞれの学生が作品の構想を練り制作しました。

作品名 京都市山科区柳辻駅 字刻表

制作者 | 笛吹麻美・歌島咲・梅原諒・小川采恵・尾川亮太・小谷隼嗣・鬼塚愛・尾山洸・金森雄矢・川口英惠・坂下真海・高橋昇志
中川聰鏡・西村元気・西森穂祐・野崎梨沙・林良卓・福澤貴人・松村亮輔・武藤百音・森田将平・山下永・山下亮・山根万奈
弓山桃佳・小塩菜月・松田楨洋
指導教員 | 河野良平



今年の作品は「明治 150 年」から想像・連想したことを文字で表現しました。そのためタイトルは時刻表ではなく「字」刻表としています。時代や年号などから自由に思いついた言葉を、様々な色、大きさ、フォント（書体）で印刷しています。また、透明な 2 枚のボードを隙間を空けて設置することで、微妙に奥行きが出るよう工夫しています。

作品名 時代萬千

制作者 | 堀里花子・鳥生千晶・野々山恭・花山智大・藤谷綾音・山岡奈々海
指導教員 | 都築潤・勝裕加



時間が流れ現代は、京都の伝統的な和と西洋の文化を取り入れた2つの歴史的建造物が同居しており、おもしろいことに私たちはそれを受け入れています。そして水路閣は時代とともに成熟した姿になり、その渋くレトロな姿は美しく、それが人気の理由の一つでもあります京都の名所となっています。

明治から150年経った今の、時代の異なる歴史的建造物の共存と、建造物の悠久の年月を経た姿の中にある言い尽くせない美しさを、今から150年後という時間軸をずらして、「水路閣とネオン」というモチーフで表現しました。

戊辰戦争後、江戸を占領し東京と改称した維新政府は東京遷都を計画し、そんな京都をなんとかしようと「京都策」という政策を京都府が始めました。京都策の中で行われた、疎水の建設つまりは水路閣の建設は東山の地とゆかりがあります。金閣寺、銀閣寺や下鴨神社などの由緒ある木造建築がたくさん存在する中で、明治時代に作られた水路閣は西洋の要素を取り込まれた近代的建造物でした。水路閣建設に対し、「必ずしも世論は好意的ではなかった」(浅野泰弘(2008)、夢の大事業「琵琶湖疏水」、一般社団法人建設コンサルタント協会『Consultant』238・26)と言われています。

そしてネオンは、京都の趣のある「和」と西洋の文化の「洋」の意外なギャップの面白さ、美しさを表現したいという想い、そしてそのビジュアルからあまりよく思っていない人もいた中で形を変えず現代まで存在し続いているというところに水路閣との共通点を感じ、モチーフに選びました。

2018年から150年後という未来の、他の文化を取り入れた新しい京都の姿をここに演出します。

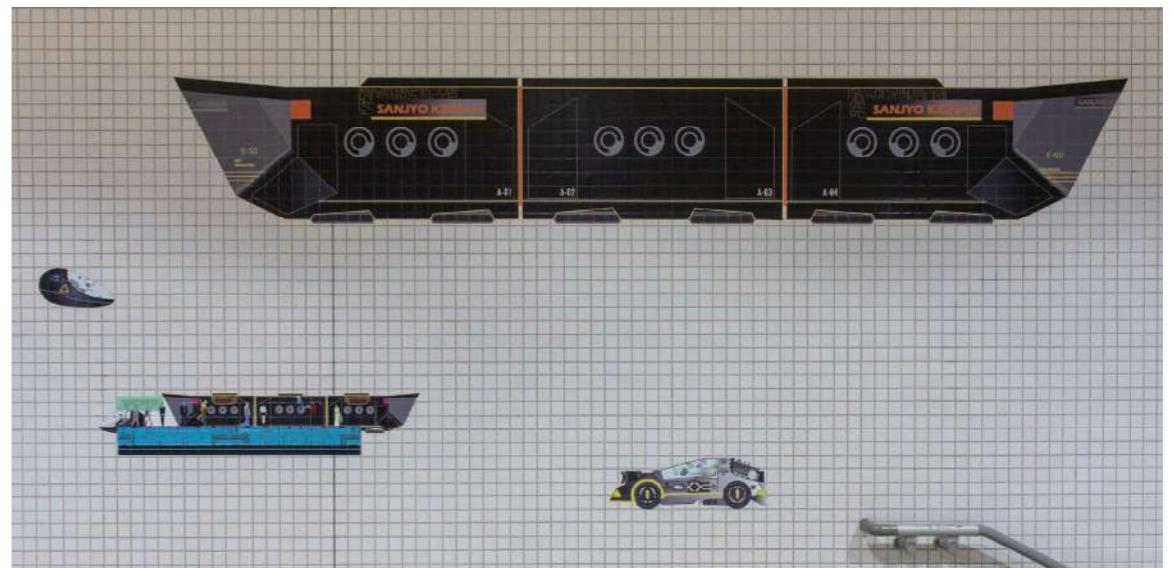
作品名 Metamorufoses —明治 150 年

制作者 | 井上由歩・岡田真生子・遠藤景子・安部俊孝・西岡日向子・宮内美帆・由上千晶
指導教員 | 中井川正道



■市電と蒸気機関車をモチーフに、文明開化の息吹を表現しました。

作品名 Metamorufoses —新たな 150 年に向けて



■自動車と地下鉄をモチーフに、わたしたちの未来を表現しました。

明治維新という大きな変革の時代に生活や社会が西欧化へと向かいました。

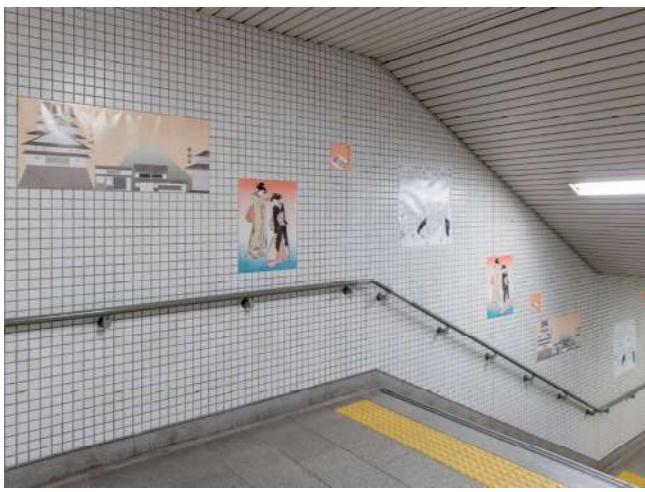
その時代を受け止め現代に繋げた先人の力、そしてこれから150年に向けて発揮される私たちの力、これらの力の影響を強く受けた交通機関を表現対象に取り上げ、変革の力に抗いながらも受け入れてゆく柔軟な人々の内面を映し出すようなイメージ表現を行いました。

二条城前駅

京都市立芸術大学

作品名 #きょうの京都

制作者 | 久保田亜子・肖力三・山本紗佑里
指導教員 | 藤本英子・近藤陽子



明治改元から、今年でちょうど 150 年がたちます。「明治維新」をきっかけに、人々の暮らしに西洋文化が取り入れられるようになりました。当時、時代の変化を人々に伝えたのが瓦版です。街の「いま」を表した瓦版は、今の私たちにとっての雑誌や SNS のようなものだったのではないかでしょうか。150 年という時間を明治維新の前と後、現代という 3 つの時代に分け、京都の街の変化を身近なメディアの形にのせて描きました。

作品名 RECOLLECTION

制作者 | 白鳥岬・村岡香織
指導教員 | 江村耕市・木村靖隆



私たちが Next innovation にとって重要だと考えている「多様性を感じる」をキーワードに作品を制作しました。RECOLLECTION（追憶）という文字が光る電飾看板の下に設けた「交換の場」では、往来する人々に些細なものの交換やその交換の記録を呼びかけています。人々の関わりで交換の場はゆるやかに変化し、他者の追憶の記録が積み重ねられています。

共通の記憶があっても、人が持っている追憶はそれぞれ違います。触る、見る、聞く、嗅ぐ、味わうといった五感から追憶がよみがえります。その追憶からまた感情が生まれ、それが行動を促し、あらたな五感への刺激がもたらされます。そのように追憶が積み重なり、明日へとつながっていきます。

暮らしの中に突然現れたノイズ（光る看板）から、共に暮らしている命の多様性を一人一人が感じることを期待しています。

太秦天神川駅

嵯峨美術短期大学



明治改元から 150 年、西洋文明が流入し、科学技術が発展し、街は大きくうつり変わってきました。私たちはこの企画にあたり、ただ時代の変化を追うのではなく、実際にその時代に暮らした人々に心を寄せ、各時代の空気を感じられるような作品にしたいと考えました。

私たちが大学で学ぶコミックアートは、ゲームやマンガなどのキャラクター表現に影響を受けたポップカルチャーであり、わかりやすさ、親しみやすさが大きな強みです。そうした特徴を生かし、この作品では、明治、大正、昭和、平成、それぞれの時代のファッショングや文物をキャラクターを中心に表現し、ポスター やステッカーにして空間を演出しました。各時代の男女のキャラクターをひとりずつ担当した合作ですので、それぞれの学生の個性の響き合いもご覧ください。

駅の改札からホームへ降りる流れに沿って過去から未来へと並べておりますので、駅を利用しながらほんの少しタイムスリップして、明治からの 150 年間を追体験して楽しんでいただければ幸いです。

作品名 150 Years

制作者 | 川端佑衣奈・川崎阿穂奈・高見優・南紫絵・竹内沙奈・柿田有香・天久杏樹・岸川紗也
指導教員 | 提抄子

作品名 文明開化バス —明治から 150 年 次なる時代へ—

制作者 | 井上由歩・岡田真生子・遠藤景子・安部俊孝・西岡日向子・宮内美帆・由上千晶
指導教員 | 中井川正道



■ 車体デザイン

明治 150 年を記念し、明治のファッショングと交通をイラストで表現しました。その絵には西洋文化を取り込もうと必死に努力した当時の人々のエネルギーを未来へ繋げてほしいというメッセージが込められています。

■ 車内ポスター デザイン

明治時代に日本で初めて路面電車が走った京都。大人も子どもも大きな乗り物にドキドキとこころをときめかせました。150 年前の市電と現代の市バス、乗り物や周りの街並みは違つても多くの利用者を乗せて走っています。

車内ポスターは、同じ場所の昔と今の写真 2 枚を 1 セットとして配置しています。昔を思い出したり違いに驚いたり様々な楽しみ方ができ、見る人それぞれに京都を楽しんでいただけるように考えました。

KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018にご協賛いただいた企業

地下鉄内安全生灭えき

京都地下鉄整備株式会社

はかりしれない技術を、世界へ。

ISHIDA

京都中央信用金庫

SAIJO

SUN COLOR
http://www.suncolor.jp/
New Printing Industry

GK Kyoto
Design and Planning

SHIMADZU
Excellence in Science

おもいを、かたちに。
Bパックス画材



HORIBA
Explore the future

muratec
村田機械株式会社

Leaf

これまでの軌跡

◆平成23年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅の3駅で実施
(参加大学)京都工芸繊維大学・京都精華大学・京都府立大学

◆平成24年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅・くいな橋駅・石田駅・柳辻駅・東山駅
二条城前駅・太秦天神川駅の9駅で実施
(参加大学)京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学
京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学

◆平成25年度

実行委員会を設立しての運営開始

◆平成26年度

エコール・デ・ボザール(パリ国立高等美術学校)が参加し、京都嵯峨芸術大学と作品を共同制作
市バスアートを京都造形芸術大学が担当・実施
照明の設置(北大路駅・二条城前駅)
キーワードラリー及びアンケートの実施(オリジナルエコバッグのプレゼント)

◆平成27年度

京都女子大学が市バス車体側面へのデザインアートを担当・実施

◆平成28年度

鞍馬口駅で新たに実施 (参加大学)大谷大学
京都女子大学がポスター等の広報物をデザイン
大谷大学が各大学のメイキング映像を制作・発表

◆平成29年度

2校が新たに参加 (参加大学)京都美術工芸大学・嵯峨美術短期大学
新規参加や展示駅変更等により六地蔵駅・三条京阪駅・二条駅の3駅で新たに実施
京都精華大学がPR紙管を製作し各駅の改札付近に設置

後援



【主 催】 KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会
(構成団体: 参加12大学、京都市交通局、京都市文化市民局)

【「駅ナカアートプロジェクト」に関するお問い合わせ先】

京都市交通局高速鉄道部営業課
075-863-5218(平日8:45-17:30)

